

アプリケーション	対象機種	N4L 社製 PSM シリーズ
PSM2200を活用した 高電圧デバイスの評価方法 (1ページ)		

PSM2200を活用した 高電圧デバイスの評価方法

高電圧デバイスは、低電圧でコンデンサを測定すると異なった測定結果を示します。LPA400とPSM2000シリーズの組み合わせで、最大800Vp-pでDC-100kHzの試験や80Vp-pでDC-1MHzの試験を、容量、AC抵抗、 $\tan(\delta)$ を本来の代表的な使用条件において評価することができます。

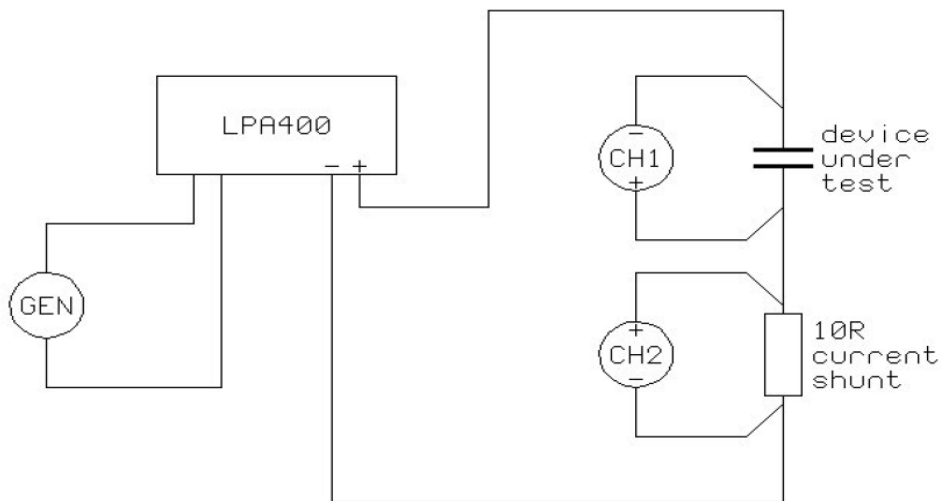


図1: 800Vp-p 高出力アンプを使ったインピーダンス試験の例

注意:

LPA400は、高電圧発生可能なアンプであり、スイッチを切られている事を確認した上で、安全性が確認されたケーブルなどのアクセサリ類を使い接続します。

容量もしくは、電力を測定する場合は、外部シャント抵抗を必要とします。

LPA400は、無効負荷時 50mA rms 出力し、10Ω無誘導抵抗(1V以下の電圧を付加してください)にします。

注意:

接続の極性に注意してください。被測定物の両端をCH1、シャント抵抗の両端をCH2に接続しています。

設定方法:

LPA400 スイッチを AC + DC 結合します。

LOW BAND (80kHz)と動作ゲイン x50 設定します。

LCR モードを選択する場合は、セットアップ・メニューでパッシブ・ヘッドに選択します。

試験電圧レベルを設定する最も簡単な方法は、"OUT"キーを押してからNEXTキーを押します。そして、AC 振幅の調整を rms レベル測定によって ch1 で調整してください。